



報道関係者各位

企画展開催のお知らせ

どうぶつ美術館

日本画にしばしば登場する動物。鹿や狸など身近に生息する野生動物や、牛や馬など家畜として人の生活を支えてきた動物など、様々な生き物が動く姿をいかに表現するかということは、古来多くの画家が取り組んできたテーマでした。本展覧会では、日本人にとって動物がどのような存在であったのかなど、動物が描かれるようになった背景や、画家を魅了した様々な動物画をご紹介します。



<開催日時>

2022年7月16日(土)～10月10日(月・祝)

○前期：2022.7.16～8.29

○後期：2022.8.31～10.10

10:00～17:00 (最終入館16:30)

●休館日：毎週火曜日、8/19～8/22 (貸切)

<主催>

嵯峨嵐山文華館・京都新聞

<後援>

京都府・京都市教育委員会・京都商工会議所

○前期：19点 → うち初公開3点

○後期：19点 → うち初公開5点

○通期：19点 → うち初公開5点

○作品総数：57点

※作品点数は変わる可能性があります

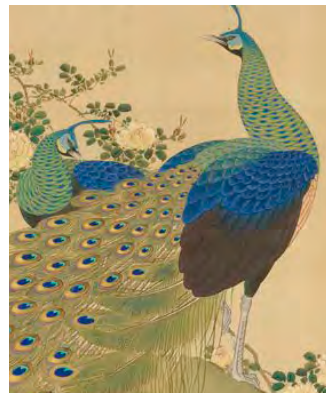
担当学芸員：阿部亜紀

広報：中島真帆



第1章：動物画の魅力

第1章では、画家を惹きつけてやまない動物の魅力や、巨匠たちの絵を通じてご紹介します。円山応挙の愛くるしい《竹に狗子図》（前期）や、勇猛な肉食獣を描いた大橋翠石《獣王図》（通期）や西村五雲《高原之鷲》（通期）、鹿の優しい眼差しが印象的な木島櫻谷《秋野孤鹿》（通期）などを展示します。



第2章：人と動物との関わり

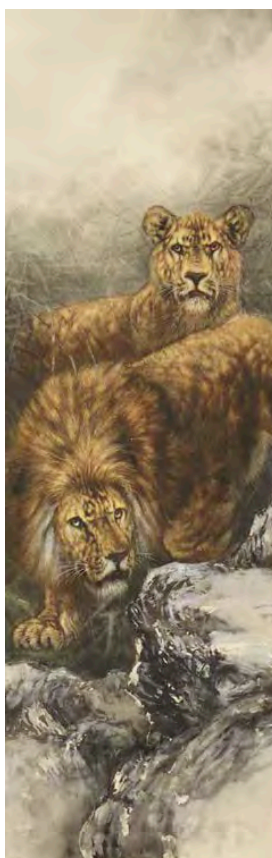
第2章では人との関わりが深い動物を描いた作品を取り上げます。金屏風いっぱい黒牛の姿を描いた竹内栖鳳《春郊放牛図》（通期）や、昔からペットとして多くの人に愛されてきた猫を描いた菱田春草《梅下白猫》（通期）、前田青邨《猫》（前期）など、画家が絵に込めた身近な動物への愛情を感じていただければ幸いです。



どうぶつ美術館_プレス用画像一覧_1



01



03

01

円山応挙《竹に狗子図》
福田美術館蔵（前期展示）

02

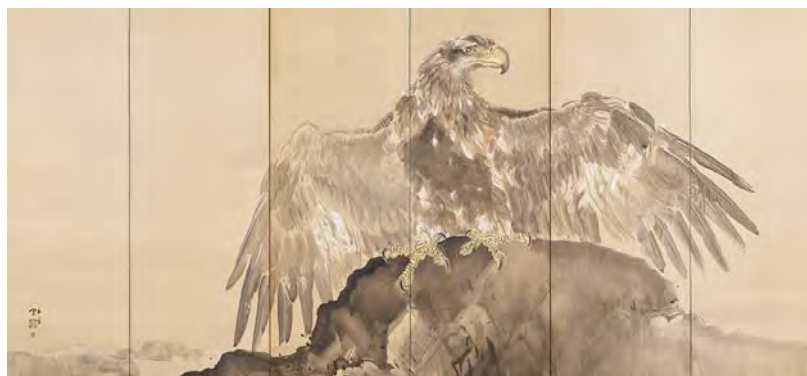
大橋翠石《獣王図》
福田美術館蔵（通期展示）

03

木島櫻谷《秋野孤鹿》
福田美術館蔵（通期展示）

04

西村五雲《高原之鷲》
福田美術館蔵（通期展示）



04



05



06



07



08



09

05 竹内栖鳳《春郊放牛図》（右隻） 福田美術館蔵（通期展示）

06 横山清暉《孔雀図》 福田美術館蔵（後期展示）

07 菱田春草《梅下白猫》 福田美術館蔵（通期展示）

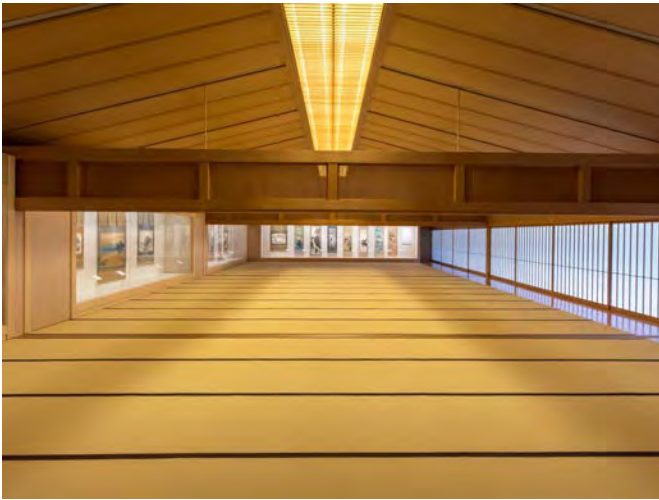
08 森祖雪《親子猿図》 福田美術館蔵（前期展示）

09 大橋翠石《雪中双兔之図》 福田美術館蔵（後期展示）

嵯峨嵐山文華館について

百人一首の歴史と日本画の粋を伝えるミュージアム

1000年以上も前から歌枕として詠まれ、愛されてきた嵯峨嵐山の風景。当館はこの地で誕生したと伝えられる百人一首の歴史やその魅力と、日本画の粋を伝えるミュージアムです。石段を上がり、冠木門をくぐって足を踏み入ると、春はしだれ桜、初夏はサツキツツジ、秋は紅葉、冬は冠雪と、四季の美しさを楽しめる石庭。百人一首ゆかりの小倉山を背にし、大堰川を借景として取り込む2階からの眺めは、まさに日本画の世界のようです。



1階の常設展示では100体の歌仙人形（フィギュア）と歌の英訳が並び、藤原定家によって百人一首が選ばれた時から昨今人気の競技かるたに至るまでの変遷をご紹介します。

また2階には120畳の広々とした畳ギャラリーは、じっくり座って自由に鑑賞することも可能。石庭を望む明るいテラスにはカフェスペースが設けられており、景色を楽しみながらお寛ぎいただけます。



嵯峨嵐山文華館概要

- 名称：嵯峨嵐山文華館／Saga Arashiyama Museum of Arts and Culture
- 住所：〒616-8385 京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町11
- 電話番号：075-882-1111 (FAX) 075-882-1103
- メールアドレス：support@samac.jp
- ホームページ：<http://www.samac.jp>



- 運営：公益財団法人小倉百人一首文化財団
- 交通アクセス：
 - ・JR山陰本線「嵯峨嵐山」駅下車、徒歩14分
 - ・阪急嵐山線「嵐山」駅下車、徒歩13分
 - ・嵐電（京福電鉄）「嵐山」駅下車、徒歩5分

- 設立：
 - 2006年 「百人一首殿堂 時雨殿」として設立
 - 2011年 一時休館
 - 2012年 リニューアルオープン
 - 2017年 一時休館
 - 2018年 11月1日 「嵯峨嵐山文華館」としてリニューアルオープン

休 館	毎週火曜日、8/19～8/22（貸切）
料 金	< 嵯峨嵐山文華館 > 一般・大学生 ¥900(800)/高校生 ¥500(400)/小中学生 ¥300(250) 障がい者と介添人1名まで 各¥500(400) ※（ ）は団体料金 < 福田美術館との二館共通券 > 一般・大学生 ¥2,000/高校生 ¥1,000/小中学生 ¥550 障がい者と介添人1名まで 各¥1,000

本展に関するお問い合わせ

嵯峨嵐山文華館 広報事務局（ウインダム内）

TEL 03-6661-9448 FAX 03-3664-3833

Email 嵯峨嵐山文華館：samac@windam.co.jp

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-9-4F
「嵯峨嵐山文華館」広報事務局 担当：沼澤、多田